

森中だより



6月号

令和2年6月19日発行

横浜市立森中学校 校長 吉原 準一

やっと登校が、始まりました

中庭のあふれる生徒たちの声、グラウンドでの元気な様子、久しぶりに森中に生徒たちが戻ってきました。大きな行事はすべてとんでいます。

「新しい生活様式」、検温、マスク、手洗い、換気そして、ソーシャルディスタンス。自分を守ることは、学校全体や、家族を守ることにもつながります。全員登校の3週間目からは、賑やかさが倍増しました。楽しそうです。

本来であれば、教育課程説明会や進路説明会を開催すべきですが、今年度は、コロナ対策のため会合を書面に代えさせていただきました。ご質問ご意見は担任を通じて、学校までお願いいたします。冬から春を飛び越えて夏へ。マスク生活の暑さを感じています。今年も森中ツバメたちは子育てをしています。中庭のアジサイは、花盛りです。

校長 吉原 準一

1年生 一歩一歩前進中

6月1日に子どもたちと再会をしました。マスク着用で子どもたちの表情のすべてを見ることができずに残念ではありますが、この2週間一歩一歩前進していることは確かです。中学校の授業やお弁当が本格的にはじまり、たくさんの初めてがこれからも続きます。焦らず、楽しむ気持ち、挑戦する気持ちを忘れずに、これからも生活を送ってほしいと思っています。また新しい生活様式を大切にしながら、ウイルスと共生の道を探しましょう。最後になりますが5月の末に予定されていた1年生の校外学習は、一度は中止しましたが、只今検討中です。状況も踏まえ、慎重に検討を進め、決定次第ご連絡させていただきます。

1学年主任 内山 菜美

2年生 再会した喜び

廊下でお話をしたり、クラスの中で盛り上がり、学年の皆さんが楽しそうにしている姿を見て、ようやく再スタートをしたと実感しています。お互いの表情はマスクに隠れていますが、生徒の皆さんのエネルギーは変わらず、安心しました。毎日会える喜びを、いつまでも忘れずにいてほしいと願っています。さて、自然教室についてですが、生徒の皆さんの安全を最優先に考え、見直しをしています。行き先、距離、宿泊、様々な可能性を考えながら慎重に検討しています。決定次第、お知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

2学年主任 大谷 理仁

3年生 修学旅行について

今回の影響で様々な学校行事の延期や縮小が検討されました。修学旅行については、検討に検討を重ねた結果2月23日～24日の一泊二日の日程で関西方面に行くことになりました。25日は代休になります。宿泊行事は9月までは実施できないということで、10月には森奏祭、11月後期中間と進路面談、12月最終進路面談と他の学校行事があり、入試の日程も考慮しながら、入試が終わったあとに実施することになりました。生徒が楽しみにしている修学旅行ですので、中止という選択ではなく、どうにか実施できる方法を考えて、このような日程になりました。本来であれば説明会を開き、報告したいのですが、このような事態でそれも叶いません。ですが、決定したことは少しでも早くお知らせした方が良くと考え、書面での報告になりました。詳しい修学旅行の内容については、この状態が落ちついたあと、改めて説明会等でお知らせしたいと思います。一日も早く終息することを祈っております。

3学年主任 中谷 郁

部活動再開について

本校では、7月より部活動の活動を再開いたします。

7月中の活動は、朝練習なしで活動日は週3日以内になります。

限られた条件の中ではありますが、感染予防に努めながら活動をしていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

顧問会

副校長コラム

武道場の軒下のツバメ

副校長 新井 利秋

それは、4月の休校日のある日、一羽の雄のツバメが武道場の軒下にある巣のリホームしているところを見つけました。ツバメが巣をつくると、その家はよいことがあると言われていいますので、今年のような社会情勢でも森中学校の生徒・保護者・教職員・地域が今年の情勢を乗り切ってくれると実感しました。これから雌のツバメを迎え、雛が無事に巣立ちの日を迎えるまで見守っていくことを決しました。

ツバメは、農作物の害虫となる昆虫を主食とするため、古くから益鳥として人間に大切にされてきました。また、ツバメは、抜群の飛翔能力をもちますがくちばしは短く体も小さくて、戦うことに関しては苦手な鳥なので、天敵であるカラスやスズメ、ヘビなどから巣を守るため、安全な人間のいる場所に巣を作ることになったと言われています。それはきっと、ツバメと人間との関係がずっと森の地域で昔から続いてきたものだからだと思います。

5月、子育て繁盛記。卵が孵り三羽の雛を見つけました。親ツバメは、お腹をすかせた我が子のため、休む間もなくエサとなる昆虫をとらえては巣に舞い戻る日々を繰り返していましたが、ここで驚きの発見がありました。巣に残っている親ツバメは、雛が出した糞の始末をしていました。雛を育てるために巣の中をきれいにしているところが健気で、これも人を育てていくことと変わりがなく、改めて環境整備の大切さ学ぶことができました。

6月、飛行訓練真っ最中。朝正門近くを三羽のツバメが飛び回っているのを見かけました。これから、越冬を迎え、巣立っていく雛たちは、自然の中の過激な生存競争を勝ち抜いていくための試練として、親ツバメの想いがひしひし伝わってきました。ツバメは、2度産卵し雛を育てます。今は、第二回目の子育て奮闘中です。

私は、森中学校で子育てをしているツバメたちの間近に見せる一所懸命な子育ての様子に共感を覚えました。大口を開けてエサをせがむ愛くるしい雛たちと、一所懸命に育てる親鳥の姿は何年経っても変わることはないでしょう。だからこそツバメを大切な隣人として迎え入れていきたいと思っています。来年もまた森中学校にやってくるツバメたちをこれからもあたたかく見守っていきます。たとえ違うツバメであっても。

今後の予定について

今年度は感染症対策のため、行う予定だった修学旅行・自然教室・校外学習等の旅行的行事や、体育祭・森奏祭（文化祭）等の日程や実施方法も検討中です。生徒の皆さんの安全を第一に考えて、一番有意義で思い出深い活動になるように考えていきます。もうしばらくお時間がかかることをご了承ください。

定期テストについてですが、本年度、前期中間テストは3年生のみ行います。1・2年生は試験範囲が少ないため、実施いたしません。課題やレポート、スピーチ等パフォーマンステストの成果をもとに評価していきます。

前期期末テストは予定通り9月に全学年実施する予定です。

裏面もご覧ください。

家庭ネット環境調査のお願い【再依頼】

5月11日臨時休業中にメール配信にてお願いした、家庭ネット環境調査のお願いです。（すでにお答えいただいた方はお答えいただき多くて結構です。）第2波に備えて、森中学校でもオンラインでの学活や動画配信を考えております。そのため、全員お答えいただくことになります。まだお答えいただけていない方は、至急お答えください。下記のQRコード、または、URLからアンケートにお答えください。誠に勝手ながら、6月26日（金）までにお答えください。

家庭ネット環境調査用 QRコード

1年生用



2年生用



3年生用



1年 <https://forms.gle/GEwkKjkYCHrR5gJd8>

2年 <https://forms.gle/2GfWRv6X4efxJXdS6>

3年 <https://forms.gle/JyYFg5gJhg9rcPEc8>



森中学校のホームページでも情報を公開しております。
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mori/>

